

課題

1. 時間とお金をかけて採用したのに、すぐに辞めてしまう。
2. 部下の育て方が分からない。
3. 最近の若い部下とのかかわり方に悩む。
4. 面談が一方向的な指示や指摘になってネガティブに捉えられている。

解決策

1. 管理職や現場リーダーにコーチングをベースにしたコミュニケーション研修を実施する。
2. ティーチング、コーチング、フィードバックのスキルを学び、部下育成力を高める。
3. 2のスキルをベースにした定期的な面談「1 ON 1」を継続的に実施する。

未来

1. 部下育成スキルが向上する。
新しいテクノロジーに対して、上司、部下が相互に補完し合い、課題を解決しながら意欲的に取り組む関係性を築くことができる。
2. 定期的な面談により、定着率及び生産性向上が図れる。
3. コミュニケーションの量と質の向上によりハラスメント防止に繋がる。

スケジュール例 1 ON 1 導入のための5ステップ

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1	管理職研修ステップ1 コーチング研修											1回 2時間	
2	メンターコーチによる 1 ON 1												
3	管理職研修受講者による 部下の1 ON 1												
4	フォローアップ研修												
5	アンカリング研修											13-15	
6	2クール目											13-15	
											●	●	●

講師陣

- 以下の条件をクリアしたコーチが担当いたします。
 - 1 日本国内のコーチ養成機関でトレーニングを終了し、資格を取得したこと。
 - 2 1の資格取得後に、世界基準である国際コーチ連盟（ICF）の資格に挑戦し、その資格を保有していること。
 - 3 コーチングを職業とし、10年以上の実績があること。
- 国際コーチ連盟（ICF）のURL

<https://coachingfederation.org/>
- 保有する国際コーチ連盟（ICF）の資格
 - ・アソシエイト認定コーチ（ACC）
 - ・プロフェッショナル認定コーチ（PCC）